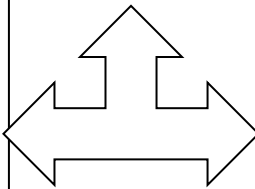


〈学校教育目標〉
 未来を創る
〈目指す児童生徒像〉
 ～挑戦 自律 真摯～
 ○将来の夢と志をもち、その実現に向けて挑戦する児童生徒
 ○時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める児童生徒
 ○自ら課題を見付け、その解決に向けて、常に努力し続ける児童生徒

【情報教育の目標】
 (1) 情報活用能力の育成
 ・ 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する。(収集・判断, 表現・処理・創造, 発信・伝達) — 情報活用の実践力
 ・ 情報活用の基礎となる情報手段の特性を理解し、自らの情報活用を評価・改善する。 — 情報の科学的な理解
 ・ 情報モラルの必要性や情報に対する責任を理解し、情報を適切に扱う。 — 情報社会に参画する態度
 (2) 情報機器 (ICT 機器) の活用
 ・ タブレット (ロイロノートやインターネットなど) を活用し、確かな学力を育成する。

学年	情報活用の実践力			情報の科学的理解	情報社会へ参画する態度 情報モラル
	収集・判断	表現・処理・創造	発信・伝達		
1	教師が提示した資料から必要なものを選ぶことができる。	タブレットの操作に慣れる。	写真や作品をもとに、タブレットで交流することができる。	タブレットの各部の名称を理解し、起動、終了、タッチやスワイプなどの基本操作ができる。	友だちと仲良く タブレット を使ったり教え合ったりすることができる。
2		アプリを利用して簡単な作品を作ることができる。			
3	インターネットを利用し、知りたい情報を調べることができる。	アプリを利用して、絵や文字を組み合わせた作品を作ることができる。	ロイロノートのシンキングツール (思考ツール) を使って、自分の考えをまとめて発信することで、思考を深めることができる。	インターネットの性質と正しい情報を選択する必要性を理解する。 (3年) インターネットの情報に古くなってしまっているものがあること理解する。 (情報モラル)	インターネットを興味本位で利用することなく目的にあった利用ができる。 (3年) 友だちどうして作品などを交流する際に大切に扱う。 (情報モラル)
4		ローマ字入力をすることができる。			
5	インターネットを利用し、目的にあった情報を判断し収集できる。	タブレットを利用して、目的にあった効果的な表現ができる。 (5年) プログラミングを使って、多角形をかくことができる。(算数)	スライドなどのアプリを使って、自分の考えをスライドにまとめ発信することができる。	電子メールの特性を知り、ウイルスや不適切な情報から自分を守る方法を理解する。 (5年) コンピュータウイルスの意味を知り、予防とその対策を理解する。 (情報モラル)	掲示板の書き込みやチャットなどチェーンメールの対応など自分や他人の人権を大切にされた対応ができる。 (5年) 掲示板等を利用する際のマナーを理解し、人を傷つけるような行動をしないようにする。 (情報モラル)
6		考えたことを「LINE BOT」を使って発信することができる。			

【情報教育の進め方】
 ○ 教科や総合的な学習の時間における活動の中で、「情報」についての指導を取り入れる。
 (年間5～10時間)
 ○ 情報モラルについての指導は、学級活動、道徳科等の時間に行う。
 ○ 教職員の ICT 研修を設け、情報教育に関する理解と技能を深める。
 ・ 児童が活用するソフトの利用。(ロイロノートの活用法)
 ・ 情報モラルの確認
 ・ タブレットの日常的な活用
 ○ ホームページの更新を計画的に行う。



【情報の管理】
 ○ 暗号化 USB を適正に管理し、セキュリティシステムを有効に活用する。
 ○ 出席、成績、健康に関するデータなど児童、保護者に関する個人情報の扱いに配慮する。
 ○ ホームページ等に児童の写真に掲載する際は、保護者の許可を得て、掲載の仕方に配慮しながら行う。